

いなべ警察署協議会議事録

令和5年度第3回いなべ警察署協議会	
日 時 場 所	令和5年12月21日（木）午後1時30分～午後2時45分 いなべ警察署3階大会議室
出席者	<p>1 警察署協議会 5名 一木正博委員、上野真由委員 清水義久委員 服部邦夫委員、三林孝夫委員</p> <p>2 警察署 8名 署長、副署長、会計課長、生活安全課長、地域課長 刑事課長、交通課長、警備係長</p>
傍聴者数	なし
公開・非公開の別	公開
議 事 概 要	
<p>1 管内の治安概況説明（警察署長）</p> <p>(1) 刑法犯発生状況 「管内の刑法犯認知件数は増加傾向にあり、依然として自転車盗の発生が多い。被害に遭う自転車の大半が無施錠であることから、施錠を呼び掛けるなど、防犯対策に取り組んでいる。」旨説明した。</p> <p>(2) 特殊詐欺発生状況 「管内の特殊詐欺は、認知件数、被害額共に増加傾向にある。被害者の約8割が高齢者であることから、高齢者を対象とした防犯教室を開催するなど、被害の未然防止に取り組んでいる。」旨説明した。</p> <p>(3) 交通事故発生状況 「管内の交通事故発生件数は前年同期と比べて143件増加しており、11月中に交通死亡事故が2件発生している。」旨説明した。</p> <p>2 協議内容 交通事故防止対策について <委員> 四輪車や二輪車等の車両の種類によって、運転時に注意すべきことに違いはあるのか。 【署長】 一番の交通事故防止対策は、交通ルールを遵守することである。 その上で、四輪車は、死角には十分に注意していただき、死角となるところで自転車等が走行しているかもしれないという意識を持っていただきたい。 また、二輪車は、他の車両の運転者から見落とされているかもしれないという意識で、防衛運転を心掛けていただきたい。 <委員> 交通事故当事者は、高齢者と若者のどちらが多いのか。 【署長】 県内では、高齢者が当事者となる事故が多くなっている。高齢者による交通事故は、重傷化し、死に至る可能性が高い。高齢者事故の原因として、判断力の低下や長年の運転経験による慣れ、油断などが挙げられる。 また、アクセルとブレーキの踏み間違いによる事故も発生</p>	

- している。
- 3 交通安全危険予測シミュレーター体験
 - 4 警察署長謝辞

備 考	
-----	--